

2019 住友電装株式会社津製作所杯争奪軟式野球大会 (兼 津市少年野球連盟新人戦) 大会要綱

令和元年 10月 吉日
津市スポーツ少年団
津市少年野球連盟事務局

【大会名】

- ◇ 2019住友電装株式会社津製作所杯争奪軟式野球大会 兼 津市少年野球連盟新人戦)

【大会日程】

- ◇ 大会日程 11月10日(日) 24日(日) 予備日は12月8日を予定

【主催】

- ◇ 住友電装株式会社津製作所

【大会会場】

- 11月10日(日) 住友電装津製作所グラウンド、オオタカグラウンド、他予備1会場
- 11月24日(日) オオタカグラウンド、(予備)神戸小学校
- 予備日予定・12月8日(日) オオタカグラウンド、(予備)神戸小学校

二日間以上順延される場合は別途日程を調整して行います。

【開会式会場・時間】

- ◇ 住友電装グラウンド 10日 8:00より開会式 (24日に順延の場合も同様)

※24日に順延の場合も開会式後、住電グラウンドで同様に試合を行います。

【集合時間】

受付を7:30~7:50分迄行いますので、各チームはそれまでに受付を済ませて

7:50分には住友電装グラウンド内の開会式の指定場所に整列して下さい。

【開会式駐車場】

当日は各駐車場案内係の指示に従って下さい。ご協力をお願いします。

【閉会式】

・・・11月24日(日) 16時10分頃~ オオタカグラウンドで行います。

(12月8日に順延の場合も同様、オオタカグラウンドで行います)

準決勝、決勝戦に残ったチームは参加をお願いします。

【表彰】

- ◇ 優勝、準優勝・・・表彰盾、賞状、メダル、賞品を贈呈
- ◇ 3位(2チーム)・・・賞状、賞品を授与

【試合要綱】

- ◇ 津市少年野球連盟9チームでの勝ち抜きトーナメント戦。
- ◇ 試合は7回戦、試合時間は90分とし、90分を過ぎて次のイニングに入らない事とします。
7回同点で時間内の場合は無死満塁からの特別延長ルールを適用し、時間内で9回を最長とします。
それでも同点の場合は抽選とします。7回以前で時間を越え同点の場合も抽選とします。
また5回に満たずに90分を経過した場合も次回に入らず、勝敗が決した時点で試合成立とします。
- ◇ コールドゲームは5回7点差で成立とします。天候影響により試合続行不可能の場合は5回で勝敗が決した時点で終了、試合成立としますが、5回未満の場合は後日へ継続試合とします。
- ◇ 投手の投球回数
投手の投球回数は1日で計7イニングの投球を超えない事。
但し7回終了同点で特別延長と成った場合のみ7回に投げていた投手は特別延長戦を9回まで投げれる事とする。又はその日に投げていない投手のみ投げれる事とする。例外は認めない。
- ◇ 審判 1日目・・・空チームの相互で2名で審判をお願いします。（基本、若番で主審）
2日目・・・上記同様
審判の手番については組合せ決定後、調整します。
- ◇ 試合球 ケンコーJ号球 各会場、各チームで用意願います。

【その他】

- ◇ 開花式にはブラカード、団旗ご持参下さい。
- ◇ ごみは各チーム持ち帰り、車は出来るだけ乗り合わせでお願いします。
- ◇ 問合せ先 住友電装 井端 080-6922-8626
神戸スポーツ少年団 上平 090-7301-4860

組合せ、案内、試合結果等は津市少年野球連盟のホームページにアップして行きますので、

ご確認下さい。 <http://www3.plala.or.jp/kanbe/turi-boy-baseball-top.html>

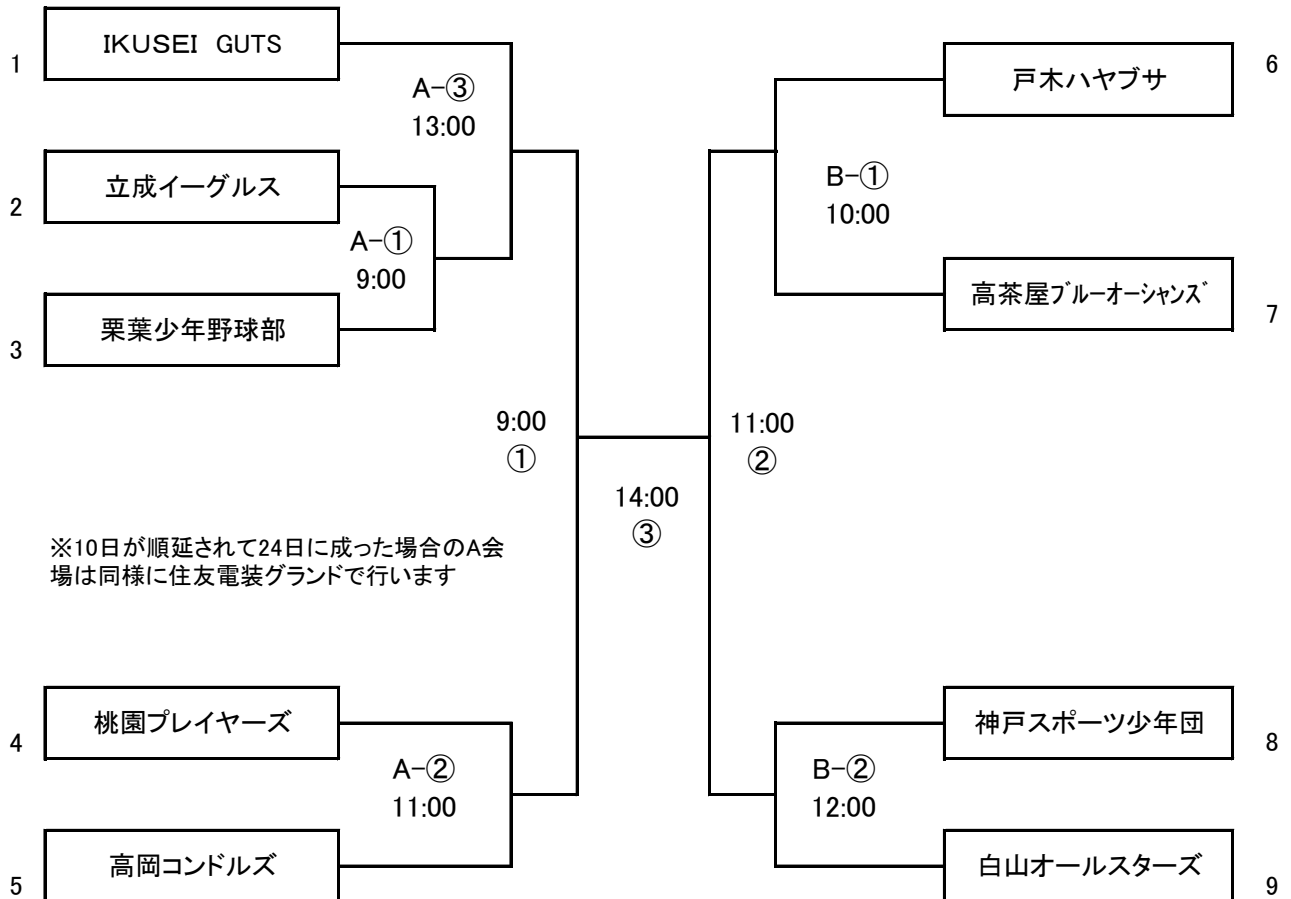
(津市少年野球連盟で検索して下さい)

2019 住友電装株式会社津製作所杯争奪軟式野球大会

兼 津市少年野球連盟新人戦組合せ

試合日程 1日目 11月10日
2日目 11月24日
予備日予定 12月8日

試合会場 A:住友電装グラウンド
B:オオタカグラウンド



試合開始30分前には必ず集合の事。

試合は7回戦。また5回以降、7点差でコールドゲームとする。

7回同点で時間内で有れば最大2回までタイブレーク方式を行う。

それでも同点の場合は抽選で勝敗を決する。

試合時間は90分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくても5回を終了すれば

試合は成立する。但し5回未満でも90分を超えた場合は勝敗が

決した時点で試合成立とする。またこの時点で同点の場合は抽選

とする。日没、降雨時中断が5回以前であれば後日への特別継続

試合とする。

投手の投球イニング数は1人1日7イニングまでとする。

タイブレークでは、タイブレーク方式の直前のイニングを投げた投手、

またはその日1球も投げていない投手のみ投球出来る。

(タイブレーク方式の直前のイニングを投げた投手に限り最大

9イニングまで投球出来る)

特別継続試合となった場合でも、投手の投球イニングはその日の

投球イニング数をカウントする。(引き続いてのカウントはしない。)

審判対応

1日目

A会場

①・・・1から4名

②・・・①から各2名(若番主審)

③・・・②から各2名(若番主審)

B会場

①・・・②から各2名(若番主審)

②・・・①から各2名(若番主審)

2日目

①・・・②から各2名 ②・・・①から各2名

③・・・①、②の敗者から各2名

(いずれも若番主審)